

2011年全伯日本語学校生徒作品コンクール要項・硬筆の部

【日時】 2011年6月5日（第1日曜日） - 10:00～11:30

【用具】 全組とも鉛筆（3B）を使用してください。（鉛筆は各自で用意してください。）

※下敷きは地区で用意してください。

【用紙】 センターのインターネットサイトにてご参照ください。

※各組とも、用紙3枚、練習用紙3枚。（名前をきちんと書けるように指導してください）

【課題（文範）】 以下の2つの中から、課題が選ばれます。発表はコンクール当日です。

【A組】	・うんどうかいは、たのしいね。ちからをあわせてがんばろう。
	・ひこうきが、そらをとんでいます。ほくもとびたいな。
【B組】	・空にかがやく星をつかんで、お母さんにあげたいな。
	・学校からかえると、草花や虫を見に、のはらへ出かけます。
【C組】	・学校のにわでピンクの小さな花を見つけた。母の好きな色だ。
	・妹は、にんじんがきらいですが、カレーに入れたら食べます。
【D組】	・テレビでサッカーの試合を放送している。今はハーフタイム。もうすぐ後半が始まる。画面には、会場全体がうつし出されている。
	・つり橋は、せまいくせにずいぶん長くて、人が歩くと、よくゆれます。今にも切れそうなほど、ギョッ、ギョッと、音がします。
【E組】	・日本に住んでいるパウロさんに、京都を案内してもらった。有名な金閣寺へ行った。桜がきれいだった。写真をたくさん撮った。
	・世界各地で温暖化問題が問われ、ブラジルでも人々の関心を集めている。みんなでエコのことを考えて、リサイクルしよう。
【初歩成人組】	・なつ休み、パラナのおじのいえに行った。とちゅう道がこんでじかんがかかり、ついた日は、つかれてねてしまった。
	・あさ、犬とさんぼしました。はしの上で立ちどまって、そうっと水の中をのぞくと、きらきらひかってとてもきれいでした。

審査基準

- | | |
|------------------------|-------------------------------|
| I、 のびのびと子どもらしく書かれているか。 | II、 名前が正しく丁寧に、バランスよく書かれているか。 |
| III、 誤字、脱字、なぞり書きなどが無い。 | IV、 はね、払い、促音、拗音などが正しく書かれているか。 |

※全体の注意事項※

1. 開始時刻10分前に、参加者名簿の順番通りに着席させてください。
2. 当日は必ず出欠の確認をしてください。欠席の場合は、参加者名簿に「欠」と赤字で書いてください。
3. 文範と用紙の配布後、参加者と監督官以外の者は退室させてください。
4. 本人と、名簿の参加者番号をしっかりとご確認の上、用紙を配付してください。
5. 作品（名簿順）と参加者名簿をもう一度確認し、**6月10日までに必ずセンターに届くようにしてください。**

※部門別の注意事項※

1. 1時間半の所要時間、最低1時間は着席すること（その後退室自由）、終了10分前のお知らせをしてください。
2. 文範1枚と用紙3枚、練習用3枚を配布し、文範の内容をポルトガル語でよく説明してあげてください。
3. 鉛筆以外のもの生徒が持っていたら、終了まで監督官が保管して下さい。
4. 参加者に以下の注意点を知らせて下さい。
 - ❖ 用紙の「名前（なまえ）」と書いてあるところに、自分の名前を記入して下さい。
 - ❖ 文範通りに書いて下さい。1枚目を書いた後に「。」や「。」、文が間違っていないか、気をつけて下さい。
 - ❖ 名前も審査されるので、丁寧にバランスよく書いて下さい。日本名のある生徒はブラジル名を書く必要はありません。（名前の位置：下のあけすぎはいけません。）
 - ❖ 監督官は鉛筆削りを必ず持参し、参加者の鉛筆が折れたり減ったりしたら、手を挙げさせて削ってあげて下さい。

監督官へのお願い

- ❖ A、B組の生徒の作品は監督官が選んで下さい。C組以上は自分で作品1枚を選ばせて下さい。